



広報まちづくりかなうら

第2号
平成27年7月1日
金浦まちづくり自治協議会
広報部会



平成27年度「まちづくり金浦」の 事業計画と予算を代議員総会で承認



5月24日午後7時から金浦公民館で開催された平成27年度第1回金浦まちづくり自治協議会代議員総会において、同年度の事業計画ならびに予算案が審議され、賛成多数で可決された。併せて同総会で、26年度の事業報告と、会計報告も行われ事務局報告のとおり了承された。その主な概要は、次のとおりとなっている。

1 平成27年度事業計画

(1) 地域住民意向調査の結果分析に基づいて各種課題解決を推進すること

広報誌創刊号でお知らせしましたが、今年度新たに環境部会、交通防犯部会を立ち上げ、企画・広報・防災・環境・交通防犯の5部会で分担し、それぞれ地域の課題解決を推進する。

(2) さらなる防災力向上を図るため、地区別に防災訓練・防災研修等を実施すること

津波災害・土砂災害等、地区別に起こり得る災害を想定した防災訓練や防災研修会を実施すると共に、防災資機材のさらなる拡充と使用技術とを併せた防災力の向上を図る。

前年度実施した古比須他4か所に引き続いだ、27年度は生江浜地区、大河西・迫・安原地区、並びに鉄南・鉄北の3地区を計画している。

(3) 広報活動を深化すること

広報誌を定期的に発行するとともに、まちづくり活動への理解と協力を得るために広報活動の深化を図る。

2 平成26年度事業報告

(1) 企画部会

住民意向調査結果から、意見要望253件を分析し、各地区の行政協力委員の方々の協力を戴き、課題解決に向けて緊急度や重要性を勘案して先ず44件に絞り込みを行った。

これらを、平成27年3月25日、笠岡市他関係箇所に対して「改善要望書」を提出し、改善に



【地域の各課題解決に向けて笠岡市と協議】

向けて協議をすすめた結果、先ず旭が丘地区の船隠方面へ向けた道路交差点改良(白線引きによる通路の明確化)が完了した。

なお、その他の具体的な件名と進捗状況については、別表1に示すとおりとなっていきます。



【旭が丘地区、船隠方面に向けた交差点改良(白線の設置)】

表1 要望・意見集約一覧と今後の対応方について

整理番号	住民意向調査による要望・意見	要望・意見 対応箇所等	対応方法等
【既に対応を行った件名】			
1	県道289号線JRガード付近鉄南側のカーブミラー設置、調整(鉄南)		
2	県道289号線JRガード付近鉄北側のカーブミラー設置、調整(鉄北)		
3	団地内メイン道路脇の補修(旭が丘)		
4	カーブミラーを曇り止タイプに取替、井手池公園東側(大河)		
5	ガードレールの設置、県道289号線から新幹線側道入口(大河)		
6	ガードレールの設置、相生公会堂から西100m付近(相生)		
7	カーブミラーを曇り止タイプに取替、相生公会堂前(相生)		
8	道路交差点にゴムポール・白線の設置、船隱方面へ向けて(旭が丘)		
9	広域農道相生トンネルと道路脇の清掃(相生)		
10	横断歩道の設置、金浦ホームタウンから旧ファインまで(鉄南)		
11	横断歩道の設置、2号線から総合体育館方面へ200mの位置(生江浜)		
12	速度制限20kmの標識設置、笠岡ダイハツ付近(鉄南)		
13	徐行標識の設置、金浦ホームタウン内(鉄南)		
14	交差点整備、国道2号線と歩道橋付近(生江浜)	公委・国道事務所	既に要望済、再度要望書を提出 公安委員会へ要望書を提出済
15	大型車の通行禁止標識設置、広域農道から県道289号線入り口(鉄北)	-	既に設置済、要望取り下げ
16	金浦中学校西側用水路に蓋の設置(吉浜)	-	地盤補強の関係で地権者の了解が先
17	非常持出袋に収納する物品は、何を主体にすべきなのか教えて欲しい		防災マップに記載、広報誌でも回答
18	住民意向調査結果と今後のアクション並びに進捗状況について、フィードバックをお願いしたい		広報誌「まちづくりかなうら」により、フィードバックを行う(2回/年発行予定)
19	行政協力委員、公民館の生きがいまちづくり活動と、まちづくり自治協議会活動との関連性やシステムはどうになっているのか伺いたい		
20	市議会とまちづくり自治協議会は、どのような関係で運営されてくのか?また、まちづくり協議会が市に提案した事業と、従来の請願や陳情とどう違うのか伺いたい	まちづくり 広報部会	広報誌(第2号H27,7,1発行)で回答
【今後、部会毎に対応方を検討する件名】			
1	休耕地が増加傾向にあり、環境改善を図るためにも地域毎の対策が必要		廃屋等についても同様の対策を要す
2	道路路側帯の除草(相生トンネルから西側の道路沿い)		
3	金浦地区に花壇等を整備する		
4	大河地区に公園を整備(古比須地区にあるが、子供連れでは危険)		
5	避難場所へ通じる道路沿いに草花を植えて整備(日々の通り道)する		
6	吉田川を整備、美化する		
7	吉田川にごみ捨て防止の立て看板を設置する(光明院~新川間両岸に)		
8	金浦湾にカブトガニが生息できる環境美化活動を行う		学術上、生息可能の可否検証を要す
9	菅原神社の「かきつばた」を拡大し、市営公園として市の観光拠点とする		
10	大雨時の土砂災害(自宅裏)に備え、自主避難したくても避難場所が判らない		
11	各地区の公園などに非常用トイレ、コンロ等の備蓄用品収納庫を設置		公営避難場所の開設時期と連絡方法
12	上記の用品を実際に使用する訓練を市全体で実施する(年に1度は)		
13	津波等の避難指定場所に防災倉庫を設置、必要な備品等を整備する	防災部会	既設置済防災器具備品との関連
14	小学生の登下校時の「見守り隊」を全地区に拡大する		
15	犯罪に対する連絡を確実にする(「駐在所だより」のみでは不十分)		
16	地区内に防犯カメラの設置		
17	子供の安全を守るための看板や標語を記載した標識を設置する	交通・防犯	
18	幅広い年代の男女が集まり、気軽にできることを企画し実施する(地域の美化、防犯・防災につながるような企画が望ましい)		
19	路線バスを小型化する(金浦地区の道路は狭隘なため)		
20	子供から老人まで地域住民が集まって楽しめる公園付きのサロンを設置する(サロンでは色々なことが学べたり、飲料等の物品も購入できることが望ましい)		公民館活動の各種サロン活動との整合性が必要となる
21	子供たちが屋外でスポーツ等を通じて遊べる場所を確保する(現在は、小・中学校の校庭以外には無い 旧職業訓練校のグランドがあるが、常時開放されていない)	企画部会	
22	地域住民から各種自治組織及び町内会等の連携によって、住民参加による課題解決を推進し、地域住民一人ひとりが充実・達成感があじわえる取組を期待する		各組織間の連携を図るための具体的な手法を検討する必要あり
23	金浦地区の山を整備し、山頂で子供たちを含めた住民が皆で集えるような設備を検討する(トイレ等の付帯設備も併せて検討する)		非常時の避難場所としても活用可能
24	地区敬老会の実施方改善について、多数の要望を戴いている		地区敬老会実施4団体でも検討中

*項目ごとの「詳細」についてお知りになりたい方は、各地区の行政協力委員または、まちづくり委員に問い合わせください。

(2) 防災部会

地区毎に、地域の特情に合わせて防災訓練や研修を実施した。具体的には、

- * 古比須地区 H26,8,17 避難訓練と防災研修会
- * 旭が丘地区 H26,10,5 初期消火訓練と防災研修会
- * 金浦小学校・幼稚園、当摩、新川地区 H26,10,15 避難訓練
- * 大河地区 H26,11,16 地区防災が主体となり、防災資機材の取り扱い講習を中心とした防災研修会 となっている。

前年までの生江浜、金浦地区に引き続いだ吉浜・大河・相生地区の「防災マップ」を作成すると共に、自主防災機関に対して発電機や担架など防災資機材の追加配備を行った。

(3) 広報部会

広報誌「まちづくりかなうら」創刊号を発行し、協議会の発足から26年度までの活動状況をお知らせすると共に、地域住民に知っておいて欲しい情報等を提供した。



【平成27年度、まちづくり協議会代議員総会 於:金浦公民館】

3 平成26年度まちづくり協議会決算報告と平成27年度予算

(数値単位:円)

収支区分	平成26年度		平成27年度 予算額 C	増減比較		備考
	予算額 A	決算額 B		B - A	C - B	
【収入の部】						
収入計	1,844,000	1,843,696	1,825,000	△ 304	△ 18,696	
笠岡市交付金	1,833,000	1,833,000	1,814,000	0	△ 19,000	
前年度繰越金	10,491	10,491	10,696	0	205	
その他収入	509	205	304	△ 304	99	
【支出の部】						
経費計	1,844,000	1,764,458	1,825,000	△ 79,542	60,542	
人件費	800,000	600,000	800,000	△ 200,000	200,000	事務局手当他
人件費	600,000	600,000	600,000	0	0	
報償費	200,000	0	200,000	△ 200,000	200,000	
運営費	517,000	105,300	507,000	△ 411,700	401,700	
備品購入費	100,000	29,160	100,000	△ 70,840	70,840	デジカメ、マイク
食糧費	10,000	22,500	30,000	12,500	7,500	会議お茶代
事務費	407,000	53,640	377,000	△ 353,360	323,360	コピー用紙、トナー他
活動費	527,000	1,059,158	518,000	532,158	△ 541,158	防災訓練、研修会
活動費	100,000	435,863	250,000	335,863	△ 185,863	広報誌、住民意向調査等
備品購入費	427,000	623,295	268,000	196,295	△ 355,295	発電機、保管庫他
【差引残高】	0	79,238	0	79,238	△ 79,238	防災資機材購入等
笠岡市返還金	0	68,542	0	68,542	△ 68,542	
次年度繰越金	0	10,696	0	10,696	△ 10,696	

※ 参考 平成26年度まちづくり協議会が打合せした主な会議の回数等



代議員総会	1回 (H26,5)
役員会・理事会	7回 (H26,4・5・10・H27,2・3)
企画部会	7回 (H26,4・7・8・9・10)
防災部会	4回 (H26,6・8・10・H27,2)
広報部会	5回 (H26,7・9・10・11・H27,3)





ご存知ですか ③ 『命のバトン』とは？

独居高齢者等の不安を解消するため、
当事者の「医療情報」を冷蔵庫に保管し、
緊急時に対応するための「道具」です！

「命のバトン」とは、円筒形のカプセルに名前や生年月日・既往症やいつも飲んでいる薬や家族、親族の緊急連絡先などを書いた用紙(緊急対応カード)を収納して、どの家でも解り易いように「冷蔵庫」に保管しておき、急病時にかけつけた救急隊員に伝えるという『道具』です。緊急医療の現場では、秒単位の差が生死を分ける事も少なくありません。昨今、高齢化世帯や独居世帯が増えたことによって、患者さんの情報が的確に伝わらないことが、救命の大大きな弊害となっています。緊急の事態が起きた場合に、当事者にかわって「医療情報」という命のバトンが医療従事者に渡され、適切な処置が速やかに受けられるように、設置を検討してみてはいかがでしょうか。



【命のバトン 径7.5cm高さ17cm
いのちのバトン緊急対応カード】

【命のバトンを保管した冷蔵庫の扉表示】 ことが必要となります。

※ 新たに設置を希望される方に

新たに「命のバトン」設置を希望される方には無料で提供いたしますが、カプセルに入れる「緊急情報」を救急隊と搬送先の医療機関等が救急医療に活用できるように、必要事項を記載・押印した『同意書』を提出していただく

※ 既に設置されている方に

既に多くの独り住まいの高齢の方、家族が働きに出て日中は一人で留守番をしているご高齢の方たちが設置をされています。現在設置されている方は、バトンの中に収納している「緊急対応カード」を新たに(最新の情報に)書き替えるようお勧めします。

※ 「命のバトン」に関するお問い合わせ等は

「命のバトン」等に関するお問い合わせについては、各地区の「民生委員」または、「福祉委員」もしくは、「社会福祉協議会委員」ならびに金浦公民館で承ります。

* 「福祉委員」については、"ご存じですか④"で解説していますので参考にしてください。



質問にお答えします！

※ 住民意向調査でいただいた、疑問・質問等にお答えします

質問 1 非常持出袋に収納すべき物品は、何を主体にすべきでしょうか？ あれもこれもだと重くなり、持てません。

回答 最低限そろえておきたい「非常持出品」については、各家庭にお届けした「防災マップ」に記載しているとおりですが、改めて下段の表にまとめましたので参考にしてください。

災害の規模や状況あるいは、各人の事情により非常持出袋に入れておくべきベストな中身は変わってきます。例えば、赤ちゃんがいる家庭では粉ミルクのような食品が欠かせなかったり、女性であれば生理用品も必要となるからです。いずれにしても、次の事項を勘案して自分に合った準備をお願いします。

- すべての災害にあてはまるわけではありませんが、災害発生から救援物資が届くまでの期間は、少なくとも**3日程度**はかかると云われています。
- 個人差はありますが、一般的に一人の人間が背負って歩くのに支障のない重量の目安は、成人男性で**15kg**、成人女性で**10kg**程度だと云われています。

非常持出品・必要最低限物品一覧表

項目 分類	非常持出品品名 番号	備考
非常用袋	1 非常用持出袋とヘルメット等の頭部保護用具	両手をふさぐことのない少し大きめのリュック型が望ましい
日用品	2 携帯ラジオ	スピーカー対応のものが望ましい
	3 懐中電灯	
	4 ラジオ・懐中電灯用予備電池	
	5 ライター	100円ライターで可、チャッカマンタイプが便利
	6 筆記用具	油性マジック、メモ帳、ボールペン等
	7 レジャーシート	避難先での場所確保(1畳程度/1人当り)
	8 ガムテープ	布テープがベスト
	9 ポリ袋、ラップ	ポリ袋は、小物入れや水入れ等と汎用性があるため、数サイズのものを数枚用意
	10 万能鉄またはカッターナイフ	
	11 ウエットティッシュ	
食料品	12 非常食	乾パンや長期保存ビスケット、チョコレートなど
	13 飲料水	飲料だけなら1日1リットル/1人当り必要 500ミリリットル用のミニボトルを数本準備
衣類	14 軍手	綿と皮(ガラス片処理用)の2種類の用意が便利
	15 下着	人により異なるが、Tシャツ等を圧縮袋で数枚準備しておくことが望ましい
	16 靴下	
	17 タオル	怪我の手当てや汚れ拭き、下着の代用にも
救急薬品	18 常備薬など	マスク、消毒液、絆創膏、湿布薬、綿棒、包帯
貴重品	19 預金通帳の番号の控え	
	20 保険証などのコピー	
	21 車や家の予備鍵	
	22 印鑑	
	23 現金	お札だけでなく、小銭も用意

質問 2 まちづくり自治協議会活動と、行政協力委員や公民館の生きがいまちづくり活動の関連性やそのシステムはどうなっているのか教えて欲しい。また、市議会とはどの様な関連性もって運営されているのか？具体的には、まちづくり協議会が市に提案した事業と、従来の請願や陳情とどう違うのか伺いたい。

回答 (1) はじめに

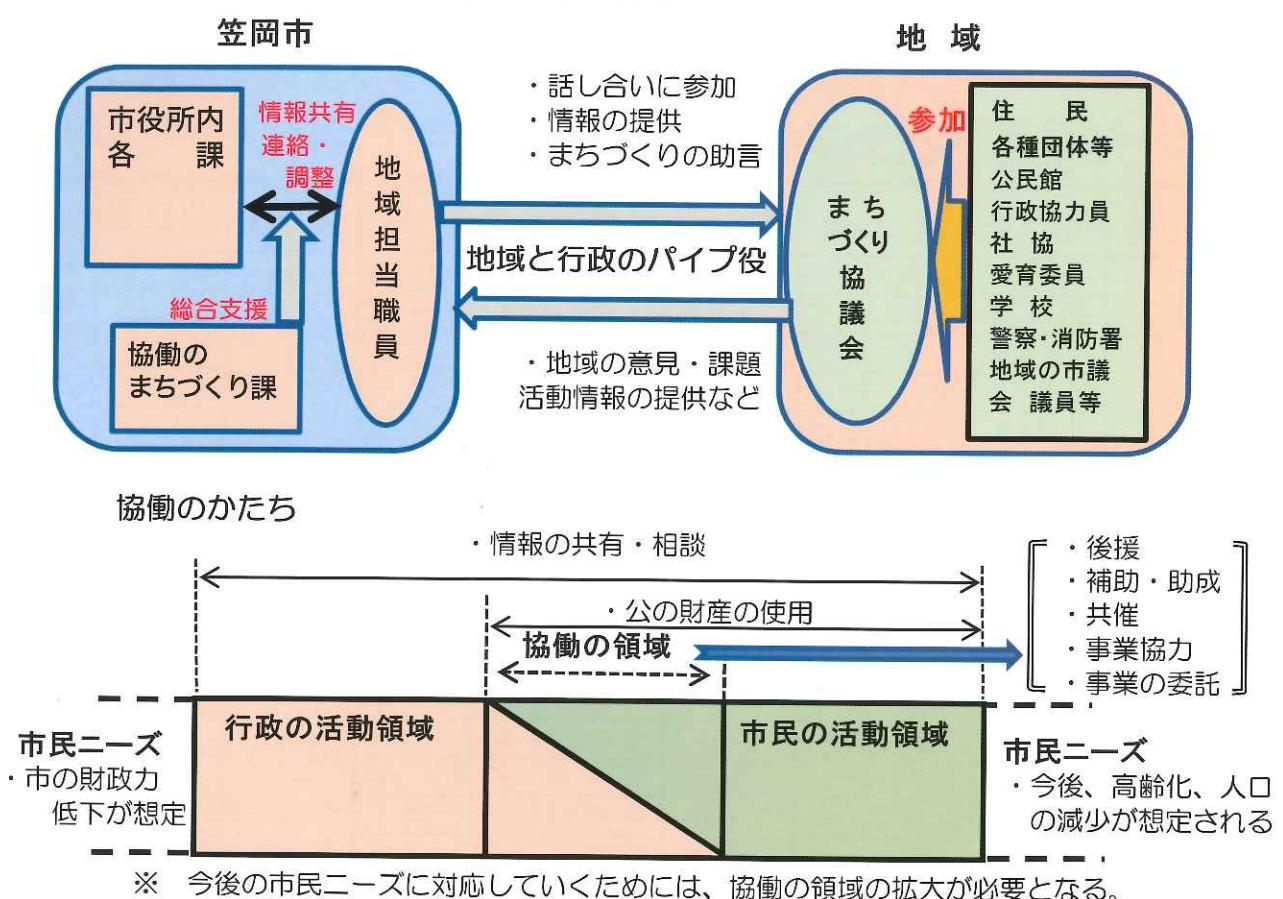
市民と行政がそれぞれの特性を認め合い、かつ対等な関係で、それぞれの役割を果しながら共通の目的に対し連携・協力して取り組むことを『協働』といいます。

協働により、より市民の視点に立って、諸課題を解決していくために、市内の各行政協力委員長が管轄しているエリアを24地区に分けて、地域の特性を生かした地域づくりに取り組むことを目的として発足したのが、まちづくり自治協議会なのです。

従って、これらを体系的に図示すると、下図のように表せます。

【表 協働のイメージ図】

地域と行政の協働によるまちづくりの推進



(2) まとめ

従来からある公民館や社会福祉活動等は、表に示すとおり、現行のままとなります。

「まちづくり協議会活動」は、これら各種団体活動を総合的にフォローしていくことになり、複数の団体にまたがる課題等は、主体となって解決にあたることになります。

従って、まちづくり協議会が市に提案した事業と、従来からの請願や陳情等についても、併行して進めて行くことになります。

御存じですか 4 「福祉委員」とは？



地域の高齢化・少子化が進んでいる背景

から、日頃の生活のなかでも、「住民同士が支え合い・助け合う」必要が生じてきています。

そこで、笠岡市社会福祉協議会金浦支部では、住民相互のコミュニケーションを円滑に進めるために、地区内の77行政区ごとに1名の福祉委員をお願いしています。



福祉委員は、地区を担当する民生児童委員、愛育委員と共に、一人暮らしの高齢者や子供たちを中心に地区内の見守りや積極的な声掛け活動等をおこなっています。

次表で、皆さんの地区の福祉委員を紹介しましたので、福祉関係の困りごとなどありましたらお気軽にご相談下さい。

貴方の地区的福祉委員紹介

地 区	行 政 区	氏 名	地 区	行 政 区	氏 名	地 区	行 政 区	氏 名
金浦鉄南	浜 側	塚原 利久	吉 浜	松 川	三宅 長期	生江浜	向 西	明石 邦照
	新 田	三宅 達文		旭	辻 賴雄		1 区	明石 国男
	浜新涯東	平田 道弘		銀 山	枝広 一芳		2 区	樋之津倫子
	浜新涯西	藤井 秀彦		狐 崎	藤原 和子		3 区	藤井 稔
	東 沖 1	小川 久雄		狐 崎	北村 正子		4 区	藤井 恒信
	東 沖 2	塚本 順昭		大 東	河相 美栄		5 区	樋之津泰人
	西 沖 1	上田 真智子		東 迫	岡田 五月		6 区	高田 泰紀
	西 沖 2A	八杉 喜佐雄		安 原	塚本 重光		7 区	唐下 靖之
	西 沖 2B	藤原 裕男		当 磨	池田 公子		8 区	藤原 勝則
	西 沖 2C	八杉 修郎		湾 頭	姫路 孝則		北山下	松枝 正己
	西 沖 3	船 橋 錠次		下 道	高田 真也子		生江浜団地	平田 瓦
	西 沖 4	木下 昭平		土 手	高橋 俊則	旭が丘	1 組	傍田 哲史
	宮ノ下	酒井 清治		宮 の 谷	高橋 守		2 組	藤井 佑平
	中 側	枝 広 徹		西 宮 前	佐藤 彰		3 組	藤原 精二
	田 方	藤本 裕一郎		中 宮 前	石井 敬子		4 組	巻田 賢一
	宮 下 南	青井 正和		東 宮 前	北川 瞳雄		5 組	藤井 圭太
	東 本 町	平石 憲臣		袖 解	南野 十治		6 組	佐藤 寿彦
	西 本 町 東	今井 美知子		船 隠	小笠原 則明		7 組	川上 弘
	西 本 町 西	越智 百合子	相生・古比須	古比須北	岡本 重文		8 組	加藤 吉枝
	北 本 町	宮田 籽旭		古比須北	兵庫 則彦		9 組	川上 敦司
	東 上 町	安原 幸夫		古比須南	久川 恭平		アパート	山名 映子
	西 上 町	大塚 勇		古比須南	伏本 正和	大 河	大河東1	塩飽 直紀
	中 上 町	渡邊 堅造		相生上	高細 隆一		大河東2	清水 良美
	西 町	笠原 貢		相生中	氷上 浩		大河中	藤原 輝夫
	新 川 上	桑田 芳樹		相生下	平井 輝久		大河西	塩飽 義史
	新 川 中	岡本 正雄						
	新 川 下	西江 賢次						